

[標準様式例7-3]

随意契約結果及び契約の内容

業 務 の 名 称	平成27年度3次元形状情報を活用した建設生産システム普及検討業務
業 務 概 要	本業務は、関東地方整備局において、3次元形状情報を活用した建設生産システムによる普及を目的とした試行事業に関する検討等を行うものである。
契約担当官等の氏名並びにその所属する部の名称及び所在地	支出負担行為担当官 関東地方整備局長 越智 繁雄 埼玉県さいたま市中央区新都心2番地1
契 約 年 月 日	平成27年4月27日
契 約 業 者 名	(一財)日本建設情報総合センター
契 約 業 者 の 住 所	東京都港区赤坂7-10-20
契 約 金 額	¥20,358,000円(税込み)
予 定 価 格	¥20,358,000円(税込み)
随意契約によることとした理由	本業務を遂行するためには、高度な技術や経験を必要とすることから、技術力、知識、経験、および業務への取り組み姿勢など技術提案を求め、公平性、透明性及び客観性が確保される簡易型プロポーザル方式により選定を行った。 (一財)日本建設情報総合センターは、技術提案書をふまえ当該業務を実施するのにふさわしい業者であり、上記業者と契約を行うものである。
業 務 場 所	関東地方整備局管内
業 種 区 分	土木コンサルタント関係
履 行 期 間 (自)	平成27年4月28日
履 行 期 間 (至)	平成28年3月31日
備 考	会計法29条の3第4項 予決令第102条の4第3号

備考

公表対象随意契約が単価契約である場合には、契約金額欄に契約単価を記載するとともに、備考欄に単価契約である旨及び契約単価に予定調達数量を乗じた額を記載する。